

Seirei

青麗

3
月
号



青麗ホームページ
にアクセスしまし
う！最新情報が掲載
されています。

contents
2025 MAR

3月号 隔月発行 第2巻第2号

表II	高田正子の初学物語 8
	●主宰詠
2	須賀川行
	●黒田杏子先生 追悼特集
4	牡丹焚火俳句大会について
6	—令和6年度牡丹焚火俳句大会 高田主宰講演録— 青邨の黒牡丹、杏子の白牡丹 講演録書き起こし 堀口知子
20	出会いの季語 須賀川の炎 ………高田正子
21	第1期・連載第2回 青華集
26	連載第1回 1月号の青華集を読む 智久薫子・磯部安志
30	青麗集 高田正子選
49	選評と鑑賞……………高田正子
	●書評
52	『黒田杏子 俳句コレクション4 櫻』……文・後藤憲子
54	青麗俳句会メンバーによる 句会のお知らせ 吟行レポート 「広重の杉戸の寺」と小机城址 ……………文・新百合 AOI 倶楽部 仙波玉藻
	●連載 お菓子な俳句
59	第8回 三色トルテ……………さとうかしこ
	●連載 俳句百名山
60	第8回 八ヶ岳……………ジョニー平塚
	●連載 「丈草の発句を読む」
62	第6回 のこる雪……………深沢眞二
	●連載 季語と外来植物
64	第8回 堇……………北川谷戸乃
	〈お知らせのページ〉
66	お知らせ
68	青麗俳句会入会案内
表III	編集後記

表紙・本文デザイン 土屋みづほ

無断転載禁止

須賀川行

二〇二四年十一月十六日
 賜りぬ牡丹供養にかなふ空
今宵焚く用意整ひ
 くくられて朝日に冷ゆる牡丹櫓
 またひとり抱へて来たる牡丹櫓
 牡丹焚くはじめは風の音遠く
 先生へ奉らむと牡丹焚く
 花びらのごとく投じて牡丹櫓
 まつすぐに猛りて牡丹供養の火
 ぼうたんの姿を重ね供養の火
 みちのくの闇縋る牡丹焚火かな
 牡丹焚くしまひは風と語りあひ

高田正子

むらさきの終の炎を牡丹櫓
 牡丹櫓なほ紫の息づかひ
 ぼうたんの祈りの炎継ぐ仕事
 バンダナを外すぼうたん焚き納め
十一月十七日
 突き崩すゆふべの牡丹焚火の炉
 牡丹の炉ありしところやなほ香る
 茫々と冬芽の牡丹畑かな
 二百齡とふ枯れぎまの牡丹木
雪の匂ひはなほ遠けれど
 火男のてのひらに来る雪螢
亡き園主・破籠子翁は像となりて
 冬枯のかなたを見つめ牡丹守

※「枯槁」2025年1月号掲載の「供養の火」10句を含む。